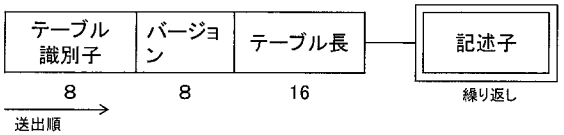
別記　ＣＡテーブル

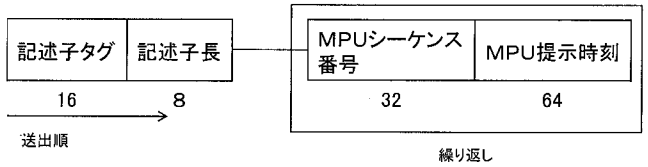


注　テーブル識別子の値は、ＣＡテーブルを示す0x86とする。

別表第三十号　伝送制御信号（標準方式第58条第４項に関するものに限る。）により伝送される記述子の構成

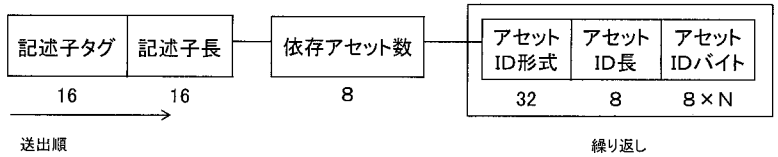
記述子	構成
ＭＰＵタイムスタンプ記述子	別記第１のとおり
依存関係記述子	別記第２のとおり
アクセス制御記述子	別記第３のとおり
スクランブル方式記述子	別記第４のとおり
緊急情報記述子	別記第５のとおり

別記第１　ＭＰＵタイムスタンプ記述子



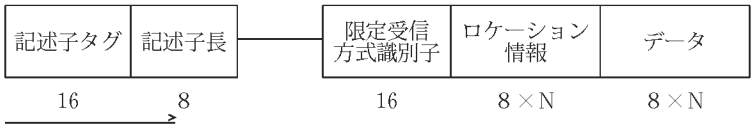
注１　記述子タグの値は、ＭＰＵタイムスタンプ記述子を示す0x0001とする。
２　記述子長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。
３　ＭＰＵシーケンス番号は、タイムスタンプを記述するＭＰＵのシーケンス番号を書き込む領域とする。
４　ＭＰＵ提示時刻は、ＩＥＴＦ　ＲＦＣ　5905に規定する64ビットＮＴＰタイムスタンプとする。
５　本記述子は、ＭＰテーブルのアセット記述子の領域で伝送するものとする。

別記第２　依存関係記述子



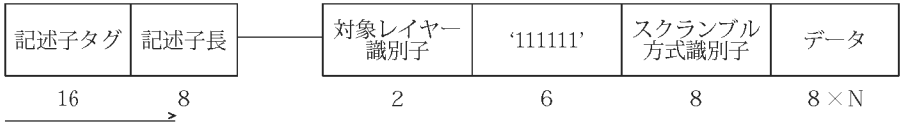
注１　記述子タグの値は、依存関係記述子を示す0x0002とする。
２　記述子長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。
３　依存アセット数は、本記述子が挿入されるアセットとアセットの数を示すものとする。
４　アセットＩＤ形式は、相補的なアセットのアセットＩＤ形式を示すものとする。
５　アセットＩＤ長は、相補的なアセットのアセットＩＤバイトのデータバイトを書き込む領域とする。
６　アセットＩＤバイトは、相補的なアセットのアセットＩＤを示すものとする。
７　本記述子は、ＭＰテーブルのアセット記述子の領域で伝送するものとする。

別記第３　アクセス制御記述子



注１　記述子タグの値は、アクセス制御記述子を示す0x8004とする。
２　記述子長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。
３　限定受信方式識別子は、限定受信方式の種別を示すものとする。
４　ロケーション情報は、関連情報を含むＭＭＴＰパケットのロケーションを示すものとする。
５　本記述子は、ＣＡメッセージのＣＡテーブルの記述子の領域又はＭＰテーブルのＭＰテーブル記述子の領域若しくはアセット記述子の領域で伝送するものとする。

別記第４　スクランブル方式記述子



注１　記述子タグの値は、スクランブル方式記述子を示す0x8005とする。
２　記述子長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。
３　対象レイヤー識別子は、スクランブル時の暗号化対象（ＩＰパケット及びＭＭＴＰパケット）を示すものとする。
４　スクランブル方式識別子は、スクランブル時の暗号アルゴリズムの種別を示すものとし、割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
'00000000'	未定義
'00000001'	ＡＥＳ（鍵長128ビットに限る）
'00000010'	Camellia（鍵長128ビットに限る）
'00000011'—'11111111'	未定義

５　本記述子は、ＣＡメッセージのＣＡテーブルの記述子の領域又はＭＰテーブルのＭＰテーブル記述子の領域若しくはアセット記述子の領域で伝送するものとする。